

第3回巨理町いじめ問題再調査委員会記者会見

日時:令和5年3月13日 午後4時20分頃

場所:宮城県自治会館 2階 200会議室

出席者:長谷川委員長、齋総務課長

※今回の委員会では「ご遺族に対するヒアリング」を行ったことから、
会議録は「記者会見部分」を公開します。

(久保班長) すみません。お待たせしました。これから記者会見をさせていただきます。

(長谷川委員長) 今日、再調査委員会の第3回でしたけども。今日やりました主なことは、ヒアリングを今日はやったと。それでご遺族に来ていただきました。それでご遺族に一番お聴きしたのは、この再調査を、要請された理由ということをお話をいただきました。それで、ご夫婦でいらっしゃいましたので、ご夫婦ともに座って頂いて、お聴きしたということですね。これ、この調査の仕方いくつかあってね。1人1人聴くというのもあるんですけど、まあ今日は、2人一緒に。

(河北) 同時に。

(長谷川委員長) 同時に。僕らは合同面接って言っていますが、出てくるものちょっと違うので、そういうやり方で、今日やらせて頂きました。

(河北) 聴かれて、まだまだ途中ではありますが、これから聴かれたことを、今後どのようにこうやっていこう、というような方向でしょうか。

(長谷川委員長) はい。それでね。お話をお聴きしました。どういうことで再審査を要請されたかということですけども。これはですね、答申書がありますね。答申書を読ませていただくと、ご遺族が、インタビューを受けたり語ったりしたことが、十分反映さ

れているとは思えないという点と、それから、事実関係が分からないまま答申書が出されたような感じがするので、是非、再調査をお願いしたいということが理由でしたね。

(河北) 私はね、それで聴かれて、それでもう、はい終わりということではないと思いますが、今後どういうふうに、こう進めていけますか。

(長谷川委員長) はい。このヒアリングに関しては、本当に細かいことも出ていますので、今後またお願いすることがあるかもしれませんということが確認されました。それから、他の委員会の中では、他の方のヒアリングをするということも。まあ考えられるかもしれないという。

(河北) ご家族だけじゃないじゃなくて、まあ、それこそ学校関係者とか。

(長谷川委員長) まあ、当然そうなるんでしょうね。

(河北) 当時の学校関係者ってことになるんでしょうかね。現在だと、また全然先生方が違います。

(長谷川委員長) この辺は、ここの問題に限らず、二つありますよね。やっぱり当時のもあるし。当時の問題を、皆さんの報道のことがあったりしてね。どれだけ変わっていったのかというので。現在の学校ということもあり得ると思うんですよね。まあ、そんな詳しいことまでは考えていませんが、そういうこともあり得るという話しですね。

(河北) それでやるかもしれないと。

(長谷川委員長) いや、必要が出てくればっていうことですね。まあ、あのご両親にしてみれば、やっぱり、ちょっと悔しいんだというようなこと。

(河北) かなり悔しいんだと。

(長谷川委員長) おっしゃってましたね、それを。少しでも満足できないものがあると。第3者委員会として、あの少しでも解いてくださるような、仕上げないといけない、という話もいたしました。

(読売) 先ほどおっしゃった、ご両親が語ったことが答申には反映されていないと。あと事実関係は分からないと。まあそういうことで…。

(長谷川委員長) 確定しないまま答申に至っている。悔しいと。

(読売) それを受けて、具体的に、学校関係者とかへ広げていくっていうことで。

(長谷川委員長) そういうことですね。はい。必要でしたらそうやりますし。まあ、出てくるでしょうね。

(読売) 直近ですと、次回は、今日受けてなんかやるということ。

(長谷川委員長) 次回は、今日の段階ではヒアリングにはなっていません。むしろ今日聴いたことを元に、そういうヒアリング必要があるかどうかも含めて…。

(河北) 話し合いが。

(長谷川委員長) はい。そういうことです。

(河北) 再調査委員会の要望書の方で、ご遺族の方々から、どうして欲しいかって要望がたくさん並んでらっしゃると思うんですけど。特に今回、聴いた話をすると、相違なくってことだと、より感情がこう、聴けたような。

(長谷川委員長) そうそう。肉漬けをしてもらったし、僕らの心構えみたいな。ね。やっぱり、グッと出てきました。ひと月に1回やる予定なんですよ。今日は、委員の中では、じゃあ、宿題を決めましょうかって話をしました。

(河北) 今日の宿題っていうのはなんか。

(長谷川委員長) 次回まで一ヵ月空くわけなので、今回はこういうことをしましょう。ということが決まりました。

(河北) それを持ち寄って、考えていきましょうという。

(長谷川委員長) こういうのは、大体年度末になるんだけどね。年度初めに決まりました。

(河北) この段階で、もうそういう話しを。

(長谷川委員長) そういうことです。

(河北) 例えば、こう中間報告とか、そういうのを出される可能性はありそうですか。

(長谷川委員長) どうでしょうか。

(河北) 1月からですよ。1、2、3まあだから6月ぐらいとか、どうなんでしょう。

(長谷川委員長) まだ、そういうところまでは議論をしていません。まあ出来るだけ早くということはありませんね。時間は限られていますし。委員は規定によれば約1年間の期限ですからね。僕の経験で言えば、早く進んでいます。

(河北) 委員の方々も皆さんも、熱心に取り組んで、ご遺族も積極的に話されてということで、進んでいる感じですか。

(長谷川委員長) そんな感じですよ。とっても進んでいますね。

(朝日) あの審議の時間、本日遺族のヒアリングの所要時間って何時間ぐらいだったんですか。

(長谷川委員長) 普通は会議全体で2時間しているんだけど、ほとんどをヒアリングに費やしましたね。

(河北) 1時間45分ぐらいありましたね。

(長谷川委員長) そうね。

(朝日) じゃあ、その大半は、もう遺族のヒアリングだったんですね。

(長谷川委員長) ヒアリングですよ。

(齋総務課長) よろしいですか。では以上で。

(河北) 次回の場所は大体この辺ですか。

(齋総務課長) 場所はですね、今週末になんないと取れないんですよ。

(河北) 年度が変わるし。

(齋総務課長) まあ、できれば、こちらか、県庁か。

(河北) の方向ですかね。時間は多分2時ぐらい。

(齋総務課長) 時間は同じ。

(河北) 2時からですね。

(齋総務課長) はい。本日はありがとうございました。